

みやぎ
地域防災の
アイデア集

05

防災資機材の整備

1 救出・救護の資機材の整備

事例05-1-1 【丸森町】防災倉庫の点検整備と資機材の調達方法

事例05-1-2 【仙台市】マンションに特有な搬送資機材の整備

2 その他の資機材の整備

事例05-2-1 【丸森町】災害協力用井戸の整備

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

05 1 救出・救護の資機材の整備

- 地域内で想定される災害に応じて、避難所や近隣他組織の資機材も参考に、災害時に必要となる資機材をリストアップし、自組織で不足するものを調達しましょう。
- 定期的に使用方法を確認して、劣化品は更新し、資機材台帳に反映します。

進め方とポイント

準備

- 地域防災計画
- 先進事例やガイドライン(例:消防庁/自主防災組織の手引)
- 避難所や近隣組織の備蓄資機材リスト

① 救出・救護用資機材のリストアップ、検討、調達、保管

- 想定される災害の種類に応じて必要となる資機材をリストアップします。
- 近隣の避難所や他組織の備蓄資機材リストも参考に、自組織で不足する資機材の種類と必要数量を検討し、調達します。※防災資機材・備品の購入には、補助金を受けられる場合があります。
- 資機材の保管倉庫の鍵の取扱も決めておきます。
- 資機材台帳を作成し、管理・更新します。



② 二次災害の危険性等の留意点をまとめ、周知

- 救出・救護時に生じ得る二次災害①(下記参照)の危険性と対応策をまとめ、防災訓練時に周知します。



③ 防災訓練などで資機材の点検を兼ねて使用方法を確認

- いざというときに円滑に使用できるよう、防災訓練では、点検も兼ね、実際に使用して、使用方法を確認します。
- 消耗や劣化したものは更新し、資機材台帳にも反映します。

【資機材の例】

初期消火用	可搬式ポンプ、ホース、消火器、ヘルメット、バケツ等
水防用	救命ボート、救命胴衣、ツルハシ、スコップ、ロープ、かけや、くい、土のう袋等
救出用	バール、はしご、のこぎり、スコップ、なた、ジャッキ、ペンチ、ハンマー、ロープ、チェーンソー、エンジンカッター、チェーンブロック等
救護用	担架、救急箱、テント、毛布、シート、簡易ベッド等

※これらの資機材は例であり、全ての整備を求めているわけではありません。想定される災害の種類や地域に
とっての優先順位を検討した上で計画的に整備を進めましょう。

ワンポイント解説

① (救出活動中の) 二次災害

- 土砂崩壊により家屋に閉じ込められた被災者(一次災害)の救出・救護活動中に、さらに土砂崩壊が拡大して救出者も被災してしまうこと等を二次災害といいます。警戒監視による危険察知や資機材による防護などが有効です。

事例 05 1 1 防災倉庫の点検整備と資機材の調達方法

丸森町 舘矢間地区協議会(二区中自主防災会)

舘矢間地区の二区中自主防災会は、防災資機材や備品を工夫しながら調達している。

進め方とポイント

各種資機材の点検・整備

- 年1回実施する防災訓練において、避難行動要支援者の搬送訓練等を行うために、事前に防災資機材に故障箇所や破損箇所がないか点検を行う。
- 防災訓練時、または役員定例会の時に、防災倉庫を開けて風を通し、発電機を稼働させて動作確認をするとともに、投光器の点灯状態等を確認している。

防災資機材や備品のリスト化

- 防災倉庫や集会所にある防災資機材や備品は、何がどこに保管してあるかが誰でもわかるようリスト化している。なお、集会所は地区住民以外も使用できることから、備品の無断持ち出し防止の観点から、リストの掲示はしない方針としている。

資機材の調達方法

- 県共同募金会や県の助成制度を活用して、発電機、テント、アシストストレッチャーや車椅子を整備し、防災倉庫に保管した。
- 地元篤志家からの寄付を活用し、ハンドマイクを購入するとともに、地元企業からは物品(ヘルメット及び配食用の食缶並びにプラ容器)の寄贈を受けた。

企業、地域会員との災害協定

- 建設業3社、飲食業1社と、災害時の防災資機材の貸与について合意した。

この取組のポイントや「なぜ、できたのか」など

- 東日本大震災の発生時に地域一帯が停電し、自宅での酸素吸入の必要がある住民に対して、急遽地元消防団から借用した発電機により、処置を継続することができた。これがきっかけで、自主防災会として発電機を常備することになった。
- また、集会所用に地元の建設業者から仮設トイレを貸与いただいた東日本大震災時の経験を踏まえ、地元企業との日頃からの交流を促進している。

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

事例 05 1 2 マンションに特有な搬送資機材の整備

仙台市 グリーンキャピタル長町Ⅱ管理組合

■ グリーンキャピタル長町Ⅱ管理組合は、防災資器材の整備を進める中で、マンション防災に特有な搬送資機材に着目した。

進め方とポイント

準備

- 搬送資機材の情報を多角的に収集する。

整備の検討

- 当該マンションは14階建てと高層のため、高齢者や障害者など歩行困難者を高層階から避難させる場合に有効となる搬送資機材の整備が課題であった。
- 管理組合として予算化を含めた合意形成を行った。

実際の整備

- 管理組合として非常用階段避難車(写真)を整備した。
- マンション住民に対して、整備した資機材を披露、周知した。



非常用階段避難車

非常用階段避難車の特徴

マンションのエレベーターが使えない状況下で、高齢者や障害者など歩行困難者を避難させるために有効とされる。

- 介助者は最低1名から使用できる(推奨:2名以上)。
- 操作訓練は必要だが、特別な技術は必要ない。
- 廊下をすばやく移動し、階段を安全に降ろすことができる。
- ブレーキシステムにより、階段上でも停止できる。
- 折りたたんだ状態(収容時)からワンタッチで使用できる。
- ゴムクローラ(ゴム製履帯)はどんな素材の階段にも対応できる。

防災訓練での使用

- 整備した資機材は、一般住民も含め、防災訓練の際に実際に使用し、利用方法を習得しておく。

この取組のポイントや「なぜ、できたのか」など

- 防災資機材の整備には、費用が課題となるが当該マンションは世帯数が多いため、予算化がしやすい状況があった。

05 2 その他の資機材の整備

- 地域内で想定される災害に応じて、避難所や近隣他組織の資機材も参考に、災害時に必要となる資機材をリストアップし、自組織で不足するものを調達しましょう。
- 定期的に使用方法を確認して、劣化品は更新し、資機材台帳に反映します。

進め方とポイント

準備

- 地域防災計画
- 先進事例やガイドライン(例:消防庁/自主防災組織の手引)
- 避難所や近隣組織の備蓄資機材リスト

① 資機材のリストアップ、検討、調達、保管

- 想定される災害の種類に応じて必要となる資機材をリストアップします。
- 近隣の避難所や他組織の備蓄資機材リストも参考に、自組織で不足する資機材の種類と必要数量を検討し、調達します。※防災資機材・備品の購入には、補助金を受けられる場合があります。
- 資機材の保管倉庫の鍵の取扱も決めておきます。
- 資機材台帳を作成し、管理・更新します。



② 使用時の危険性等の留意点をまとめ、周知

- 資機材の使用時に生じ得る、ケガや事故の危険性に対応策をまとめておき、防災訓練時に周知できるようにします。



③ 防災訓練などで資機材の点検を兼ねて使用方法を確認

- いざというときに円滑に使用できるよう、防災訓練では、点検も兼ね、実際に使用して、使用方法を確認します。
- 消耗や劣化したものは更新し、資機材台帳にも反映します。

【資機材の例】

情報収集伝達用	トランシーバ、ハンドマイク、ラジオ、住宅地図、模造紙、油性マジック等
避難所、避難用	発電機、ガソリン携行缶、投光器、簡易トイレ、毛布、組立式シャワー等
給食、給水用	炊飯器、鍋、コンロ、ガスボンベ、給水タンク等
その他	簡易資機材倉庫、ビニールシート、携帯電話機用充電器、除雪機等

※これらの資機材は例であり、全ての整備を求めているわけではありません。想定される災害の種類や地域に
よっての優先順位を検討した上で計画的に整備を進めましょう。

【新型コロナウイルス感染症対策に必要な資機材の例】

衛生資材	消毒液、マスク、フェイスシールド、手袋、ウェットティッシュ、ペーパータオル等
健康管理用	非接触型体温計等
運営スタッフ用	マスク、フェイスシールド、感染予防衣、手袋、フェイスガード等
避難所運営用	テント、間仕切り、養生テープ、段ボールベッド、ビニールカーテン、ブルーシート、扇風機、サーキュレータ、除菌・滅菌装置等

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

事例 05 2 1 災害協力用井戸の整備

丸森町 舘矢間地区協議会

- 丸森町は、面積の半分が山間部であり、その間に流れる一級河川の阿武隈川、複数の二級河川があり、水が豊富である。そのため、昔から井戸を所有している家庭も多いが、近年は使用していない井戸も数多く存在している。また、豊富な沢水を引いた簡易水道を使用している家庭もある。
- 東日本大震災や令和元年東日本台風で断水した際、井戸や簡易水道が大いに活用された経験をふまえ、舘矢間地区二区東自主防災会では、災害時に井戸を提供してくれる世帯を調査し、災害協力用井戸として地域に周知している。

進め方とポイント

井戸がある世帯の調査と災害時の井戸水提供協力の打診

- 井戸は古くから居住している世帯に多く、二区東の井戸は4基と把握できた。
- 災害時に開放いただけるか打診し、全員から快諾を得た。

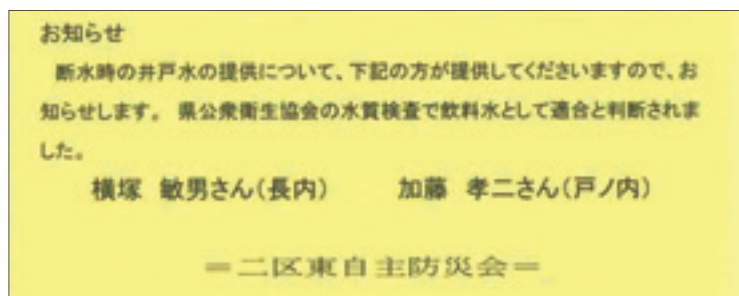
水質検査の申込み方法

- 電話やホームページ内の問い合わせフォームで問い合わせる。
一般財団法人宮城県公衆衛生協会 電話022-771-4722
ホームページ <https://www.eiseikyokai.or.jp/>



結果の周知

- 2基が適合、残り2基が不適合であり、8月の訓練の際に、災害協力用井戸の情報を全戸に周知した。



水質検査の費用

- 今回の検査項目は11項目、費用は7,000円(税抜)であった。
- 水質検査費用は助成が受けられる場合もあるので、保健所などに問い合わせると良い。

この取組のポイントや「なぜ、できたのか」など

- 上水道の普及以前より代々居住している住民が多く、井戸も多く残っていた。
- コミュニティの交流が盛んで住民同士がほぼ顔見知りであり、令和元年東日本台風の経験で共助の機運がより高まったこともきっかけになっている。